

## 歴史的建造物を守り継ぐ伝統の技 横浜・三溪園 重要文化財『月華殿』柿<sup>こけら</sup>葺き屋根葺替工事見学会 2023年9月18日(月・祝)

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、現在まで受け継がれている文化財を未来へ守り伝えていくため、重要文化財の修理工事を順次行っています。2022年9月には臨春閣の保存修理工事を終え、現在は旧東慶寺仏殿（2020年度～）、月華殿（2022年度～）の保存修理をおこなっており、工事中しかできない情報発信や工事見学会の開催など修理の意義の周知に努めています。

この度、月華殿において柿（こけら）葺き屋根の葺替工事に合わせ、見学会を1日限定で開催します。柿葺き屋根施工およびその材料となる柿板の製作は、ユネスコの無形文化遺産に登録された「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」の一つであり、関東圏では珍しい工事です。加えて、大規模修理工事中しか実施できない調査も行われているため、今回判明した調査結果などもご覧いただくことができる貴重な機会です。



修理工事前の傷みの著しい屋根の様子



古い屋根解体後の屋根下地の様子

### ■開催概要

日 時：2023年9月18日（月・祝）※荒天予備日：9月23日（土・祝）

<b>【こども見学会】</b> 対象   中学生以下のこどもとその保護者 中学生はご本人のみの参加も可 時間   10：30～11：30 定員   6組（最大30名）	<b>【一般見学会】</b> 対象   高校生以上 時間   1回目 13：30～14：20 2回目 14：30～15：20 定員   各回20名
---	---

料 金：無料（入園料別途）

申 込：オンラインチケット Peatix にて受付（事前予約制）

<https://sankeien-gekkadenkokerabuki.peatix.com>

主 催：公益財団法人 三溪園保勝会

協 力：田中社株式会社（施工請負）、公益財団法人文化財建造物保存技術協会（設計監理請負）

## ◆ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」について

木・草・土などの自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、健全な建築当初の部材とやむを得ず取り替える部材との調和や一体化を実現する高度な木工・屋根葺き・左官・装飾・畳など、建築遺産とともに古代から途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた伝統建築技術です。2020 年 12 月にユネスコ無形文化遺産代表一覧に「記載」となりました。

今回の工事見学会に関わるのはこれらのうち「檜皮葺（ひわだぶき）・柿葺（こけらぶき）」「屋根板製作」となります。またこの修理工事に伴う調査は「建造物修理」に該当します。



屋根板製作作業の様子

## ◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906(明治 39)年 5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha (東京ドーム約 3.7 個分) に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953(昭和 28)年に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007(平成 19)年には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

## 施設概要

施設名	三溪園（さんけいえん）
運営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	<a href="http://www.sankeien.or.jp">www.sankeien.or.jp</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/sankeien_garden">www.instagram.com/sankeien_garden</a>
Twitter	<a href="https://twitter.com/HSankeien">twitter.com/HSankeien</a>
入園料	2023 年 9 月 30 日まで 大人 700 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 200 円（公的証明書の提示が必要） 2023 年 10 月 1 日から 大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円（公的証明書の提示が必要）
開園時間	9：00～17：00（最終入園 16：30）
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分



## 本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当 岩本・加藤

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343

MAIL： [websupport@sankeien.or.jp](mailto:websupport@sankeien.or.jp)